

「DoboX × PLATEAU Hack Challenge 2024 in 広島」の 開催結果概要等について

1 要旨・目的

7月27(土)、28日(日)に開催した「DoboX × PLATEAU Hack Challenge 2024 in 広島」の開催結果概要及び今後の取組について報告する。

2 現状・背景

データ利活用の重要性・有用性の発信や次世代を担うデジタル人材の育成等を目的として、インフラマネジメント基盤「DoboX」のデータ等を活用して、地域課題の解決に有効なアプリケーションやアイデアなどの優秀作品を選考するコンテストを昨年度から開催しており、今年度は、8月1日からその作品募集を行っている。(作品募集期間：8月1日～11月29日)

3 概要

コンテストの作品募集の開始に先立ち、プログラミングの経験のない方でも気軽にコンテストに作品の応募ができるようアプリケーションの開発等を支援するハッカソンイベント^{*}を7月27日(土)、28日(日)に開催した。

イベントには、建設コンサルタントや、IT関連事業者、大学生、高校生など24名が参加し、参加者と職員が協働して地域の課題解決に取り組み、6作品のアプリ等が提案された。

^{*}ITエンジニアなどのメンター(指導者)を派遣し、アプリケーションの開発を支援するイベント

【作品一覧】

区分	作品概要	利用データ
まちづくり	若者の意見をまちづくりに活かすため、3D都市モデルとARを用いたアイデア投稿アプリを提案	3D都市モデル
交通①	公共交通機関の利用促進のため、推し飲食店投稿や最適経路検索ができるアプリを提案	—
交通②	公共交通機関の利用促進のため、アニメ聖地巡りを支援するARマップアプリを提案	—
防災・減災	災害時の避難経路検討と防災教育に活用するため、3次元点群データ等を用いた3D可視化アプリを提案	洪水浸水想定区域図 3次元点群データ
中山間地域	耕作放棄地活用のため、野菜の生育に必要な情報を可視化し、就農やブランディングを支援するアプリを提案	雨量観測データ等
その他	人の動きに応じて特定築年数の建物モデルを表示するアプリを提案	3D都市モデル

4 今後の取組

今後は、広島工業大学などの県内大学や呉工業高等専門学校と連携したアイデアソン等のほか、民間事業者と連携したアイデアソンの開催(大学生対象)も予定している。

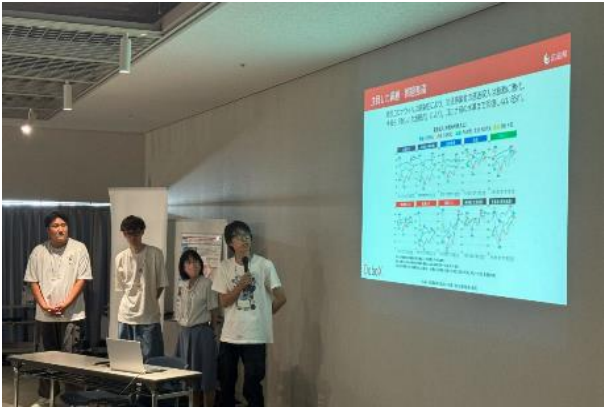
今回のハッカソンやコンテストなども含む様々な取組を通じて、広島デジフラ構想に位置づけた新たなサービス・付加価値の創出など目指す姿の実現に向けて取り組んでいく。



県職員から地域課題の説明



グループワークの様子



参加者による成果発表



イベント終了後の集合写真